

# 葛飾地区理大祭開催決定



▲ 葛飾地区理大祭実行委員会の方々

今年度開設された葛飾キャンパスでは、すでに葛飾地区理大祭実行委員会が発足され、初年度から理大祭を開催する準備が進んでいる。葛飾キャンパスにおける理大祭は一時期開催が危ぶまれていたが、何とかして開催したいという学生の声が多くあつた。そこで、実行委員会による尽力のもと、神楽坂、野田の両キャンパスによる多大な協力もあつて、無事開催されることと決定した。

今回発足した葛飾地区理大祭実行委員会の委員の多くは野田キャンパスから移転してきた学生である。彼らはもともと野田キャンパスの理大祭実行委員会に所属していたため、葛飾キャンパスにおいても理大祭の開催に携わっていききたいと思つたようだ。このような

活動は学生時代しかできないことなので、積極的にやってみてみたい、と話す学生もいた。新しい環境での仕事に対する不安もある一方で、実行委員達の意気込みはとて強い。

しかし、実行委員達の熱意に反し、葛飾キャンパスでの開催には多くの課題が残されている。まず、葛飾地区理大祭実行委員会は発足してから間もない団体のため、一組織としての活動経験が少なく、そのため、組織体系の構築がまだ不完全であり、どのように活動をしていくのか見通しを立てにくい。また、様々なサークルや学生団体、そして学校側との協力体制もこれから新しく作っていく必要がある。連絡不足などによるトラブルが心配される。今年度企画するイベントの予

定についても、学校への許可申請や各キャンパス間での調整が必要になるため、まだ具体的には決まっていないとのことだ。

さらに、初期投資に必要な資金や人材の面での不足も見られる。神楽坂、野田の両キャンパスから物心両面の支援を受けていく予定ではあるが、開催に必要な資料の確保には依然として苦労している。企業との共催による資金援助といった財源が確保できないため、現時点の予算ではパソコンや事務用品など運営に必要な最低限度のものしか買えず、今年度の機材のほとんどをレンタルすることになる。葛飾キャンパスは屋外に広い敷地を持つため、屋外イベントが祭典の華を飾ると見られるが、屋外で使用する机やテントなどにしても全てレンタルするしかないという。そのため、ただでさえ少ない予算の多くを各種レンタル代に割かなければならず、安定した財源の確保と運営に必要な機材の調達が今後の課題になってくるだろう。

葛飾地区理大祭の開催日程は11月9日(土)、10日(日)であり、その2週間後に神楽坂・野田キャンパス理大祭が行われる。今年度に限り葛飾キャンパスと他キャンパスが日程をずらして開催することが認められた。葛飾地区理大祭の前には、10月27日(日)に本学主催の「ホームカミングデー」が葛飾キャンパスで行われ、2週間ごとに本学

のイベントが執り行われることになる。このように開催日程を少しずつずらしたのが葛飾キャンパスのイベントに参加できるようにすることで集客力のアップが見込めるという理由の他に、葛飾地区理大祭実行委員会の人手不足を他キャンパスから増援を呼ぶことで補う目的がある。

葛飾地区理大祭は広大な敷地を活かして、非常に大きな規模になると見込まれる。多くの来場者を収容できる図書館併設のホールや体育館など、神楽坂キャンパスにはない大規模な施設もあり、これらも十分に活かされることだろう。また、葛飾キャンパスの周辺には多くの小・中・高校が点在するため、将来の大学受験に向け本学を紹介していくことも大切な目的待したい。

である。そのため、研究室や各施設を巡るキャンパスツアーや、学生による科学実験教室、ホールを利用しての部活動紹介などを行う予定である。

葛飾キャンパスの周辺には多くの学校や住宅が立ち並び、地域住民との交流がテーマとなっている。今年度の4月に行われたサイエンスマルシェでは、近隣住民も数多く参加し、大変な盛り上がりとなった。理大祭ではそれ以上の来場者に来てもらい、より一層活気づくことが望まれる。葛飾地区理大祭を通して、より多くの人々に本学を知ってもらい、地域との連携を強めていくことが大切になるだろう。地域住民に愛され、子どもからお年寄りまで幅広い年代の人々に楽しんでもらえるような行事となるよう、実行委員会の活躍に期待したい。



▲ 葛飾キャンパス

- 2 光触媒国際研究センター開設
- 3 理系女子特集
- 4 ご当地自慢

▼先日、花東とケーキを持った年配の女性に道を尋ねられた。駅から病院に行きたいと言う。幼い頃から慣れ親しんだ病院だ。説明するのは困らない。歩いて行くには遠いかね? どれくらいかかるかしら「遠くないですよ。15分くらいだと思えます」「じゃあ、歩いて行こうかしら」「分かりました。駅のロータリーを抜けてからまっすぐ行って橋を渡るとピンクの建物があります。そこが病院です」「ありがとう、助かったわ」▼その女性はありがたう、と微笑みながら、あめ玉を私に一つ手渡した。私はただ、道を教えただけなのに。▼私は、様々な場所よく道を尋ねられる。しかし、あまり尋ねられない人がいるのも確かだ。道を尋ねられる人と尋ねられない人の違いはなんだらうと考えると、見た目や雰囲気、第一印象などが思い浮かんだ。声をかけやすい、答えてくれそうと感じる、そういった何かがあるのだと思う。そんなことを考えていたら、道を尋ねられるのはいいことなのかな、と感じた。私は自分に自信がないし、性格も好きではないが、声をかけてもらえないことは有り難いことなのだと思う。▼あめ玉は、私に対する感謝の気持ちだろう。その女性のように、感謝する心を忘れないようにしていきたいと思う。▼花はスイトピー、きつとお見舞いに行くのだから。天気は初夏というのに曇りであった。しかし、歩くのにはもってこいだ。後ろ姿に「いつてらっしゃい、お気を付けて」と心の中で呟き、私は学校へと向かった。(たけうち)



## 東京理科大学 3年生、修士1年生のみなさん!

# 会員登録は お済みですか?

# リクナビ 2015

## インターンシップ & キャリア

6月1日サイトオープン! 会員登録スタート!

就活準備のためのお役立ちコンテンツが満載!

リクナビ2015

<http://job.rikunabi.com/2015/>